

支援方針

1)学習支援

読み書きや簡単な計算などを個別スペースで指導し、基礎学習が身に付くように支援します。

2)デジタル教育

学習や遊びの中でタブレットや大型スクリーンを使用し、時間を守って簡単な操作方法を学びます。

3)社会スキルの向上

他の子どもたちとの交流や遊びを通じて、ルールを守ることや社会的スキルを育みます。

健康状態

【健康・生活】

- ・心身の健康状態の把握(来所時の検温と体調の確認)
- ・構造化等による生活環境(わかりやすい時間や空間の構造化)
- ・視覚スケジュールの利用(自立支援と日常生活の習慣化)



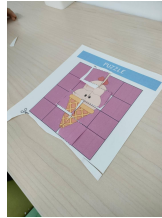
・集中力が身に付き、スケジュール通りに活動ができるようになってきます。



【運動・感覚】

- ・姿勢の保持(体幹トレーニング、バランスボール、ツイスターゲーム等)
- ・身体移動の能力の向上(平均台等)
- ・保有する感覚の総合的な活用(リズム体操、パラバレーン、旗揚げゲーム等)
- ・感覚の特性(感覚の過敏、鈍磨への対応、環境整備等)

・落ち着いて座ることができるようになってきます。
・体の使い方が身につけてきます。



【認知・行動】

- ・感覚や認知の活用(デジタルゲーム、パズル、知育玩具、タブレット学習等)
- ・知覚から行動への認知過程の発達(粘土、スライム等)
- ・認知や行動への手がかりとなる概念の形成(知育アプリ、ブロック遊び等)
- ・数量、大小、色などの習得(デジタル教材、知育玩具等)
- ・時間の感覚を習得

・課題に取り組む力がつきます。

【言語・コミュニケーション】

- ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(集団活動への参加、1日の振り返り、SST等)
- ・非言語コミュニケーションの活用(指さし、身振り、サイン、絵カード等)
- ・読み書き能力の向上のための支援(タブレット教材、絵本の読み聞かせ等)

・自分の気持ちと向き合い、気持ちの切り替えができるようになってきます。
・泣いて訴える回数が減り、言葉で伝えられるようになってきます。

【人間関係・社会性】

- ・感覚運動遊びから象徴遊びへの支援(見立て遊びやごっこ遊び等)
- ・一人遊びから協同遊びへの支援(簡単なルールのある遊び等)
- ・自己理解とコントロールのための支援(気持ちの温度計等)
- ・集団参加への支援(集団遊びの提供、社会資源の活用等)

・ルールを守って活動ができるようになってきます。
・友だちとのトラブルが減ってきます。

環境因子

〈家族支援〉

- ・LINEを活用した日々の様子や活動の報告
- ・子育ての困りごとへの相談援助(面談等)
- ・子育てや障がいに関する情報提供
- ・リトミックへの参加(保護者・兄弟)



〈移行支援〉

- ・インクルージョンを推進
- ・不登校児童の受け入れ
- ・放デイへの緩やかな移行支援

〈地域支援・連携〉

- ・保育園との情報連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助
- ・相談支援事業所との支援の連携
- ・基幹支援センターや他の事業所との連携
- ・防災を含めた地域住民や関係機関との連携
- ・行事協力や見学の受け入れ等地域住民との交流

〈職員の質向上〉

- ・県・市主催のキャリアアップ研修、専門研修、課題別研修への派遣
- ・虐待防止、身体拘束等の研修への派遣や内部研修
- ・防災訓練の実施
- ・資格取得研修へ派遣等



個人因子

〈体験・経験(行事等)〉

- ・日々の制作活動や集団活動
- ・土曜に実施するリトミック
- ・室内でのお買い物ごっこ

